

特集

社会資本の 戦略的な維持管理

～維持管理の高度化・効率化～

【特集の趣旨】

我が国のインフラは、高度経済成長期以降に整備されており、今後、建設から50年以上経過する施設の割合は加速度的に増加する見込みであり、このように老朽化するインフラを戦略的に維持管理・更新することが求められています。


このことから、近年では、従来の手法よりさらに効率的・効果的に維持管理を行うため、構造物の現状をデジタル写真や3Dレーザースキャナー、電磁波レーダーなどで計測し、データ化した後に、データ解析によって異常箇所を見つけたり、原因を探ったりする手法等が採用され始めています。

今号の特集では、総論として「国土交通省におけるインフラメンテナンスの取組」について概説するとともに、各事業による維持管理業務の高度化・効率化に向けた地方整備局、地方公共団体等の具体的な取組事例や地方公共団体に対して支援を行った事例について紹介します。

特集担当編集委員

(国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 課長補佐)

本村 信一郎



ドローンを活用した特殊橋等の定期計測（本号P19～21
「山口県におけるインフラメンテナンスの高度化・効率化の取組」より）



CONTENTS

国土交通省におけるインフラメンテナンスの取組	8
横断歩道橋の合理的な補修補強を行うためのガイドラインの策定とその運用	13
トンネル点検におけるひび割れ等変状、補修・補強状況等の可視化技術による効果的な維持管理	16
山口県におけるインフラメンテナンスの高度化・効率化の取組	19
北海道開発局における河川管理分野のDXの取組	22
下水道管きょにおけるマネジメントサイクルの構築	25
折野港海岸における新技術を活用した老朽化対策	28
漁港施設の点検・診断におけるICT技術の活用	31
インフラメンテナンス国民会議における自治体支援	34